

選考経過（膜構造デザイン賞）

膜構造デザイン賞の審査は書類選考による1次審査、現地審査による2次審査の2段階で実施した。1次審査を通過した2つの作品について現地に於て設計者によるプレゼンテーション、視察、質疑応答を実施した。再応募の作品については、昨年2024年2月にプレゼンテーション、視察、質疑応答を審査委員が実施していたため今回は現地視察等を省略した。最終選考会議（2025年4月9日）では、オンライン出席を含めて9名の出席のもとで選考を行い、資料を縦覧した後、全委員での議論と複数回の投票を行った。なお利害関係のある委員は投票を棄権した。

本年の膜構造デザイン賞を下記の作品に決定した。

「環境をカタチにする環境共生スタジアム 芝育成や観戦環境、構造合理性を最適化した有機的なデザイン」

表彰委員長 河端昌也